



5 磯遊び(かにつり)

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

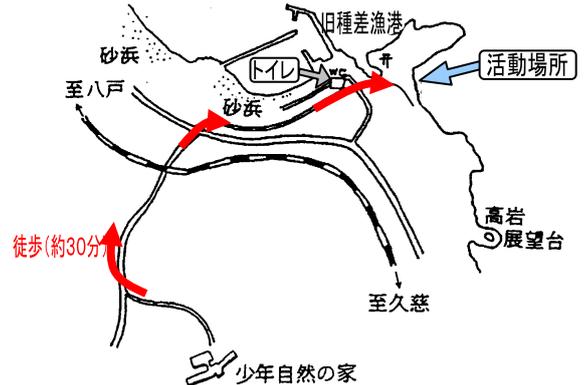
岩場でいろいろな磯の生物を探したり、かにつりをしたりすることを楽しみます。

1 ねらい

磯にすむ生物の様子にふれ、生き物の不思議と自然の大切さを知ること、生命を尊重する心を育みます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 種差漁港奥の磯 200人以内
- ② 期間 4月～10月
- ③ 時間 2～3時間 (徒歩で片道30分程度)



3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

| 区分 | 準備物 | 備考 |
|------|---|--|
| 団体 | <ul style="list-style-type: none"> ・トイレトーパー ・緊急車両 ・かにつり用のえさ ※必要に応じて熱中症対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・トイレにトイレトーパーはありません |
| 個人 | <ul style="list-style-type: none"> ・ぬれてもよい運動靴 ・タオル、帽子 ※必要に応じて雨具(雨合羽等) | <ul style="list-style-type: none"> ・長靴、サンダルは危険です。 |
| 自然の家 | ☆無線機と救助ロープ <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドマイク、説明用資料 ・かにつりざお ・かにつりセット (バケツ1、ざる1、虫かご1、バット1) | ☆必ず持って行ってもらいます。 <ul style="list-style-type: none"> ・100本まで ・24セットまで |

5 引率者の役割分担

| 係名 | 役割 |
|-------|---|
| 代表責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。 ・緊急時や戻るときに無線機を使って、自然の家まで連絡をする。 |
| 安全管理係 | <ul style="list-style-type: none"> ・これ以上行くと危険だと思われる場所に、救助ロープを持って立つ。 |
| 救護係 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の救護、搬送にあたる。 |

6 活動の流れ

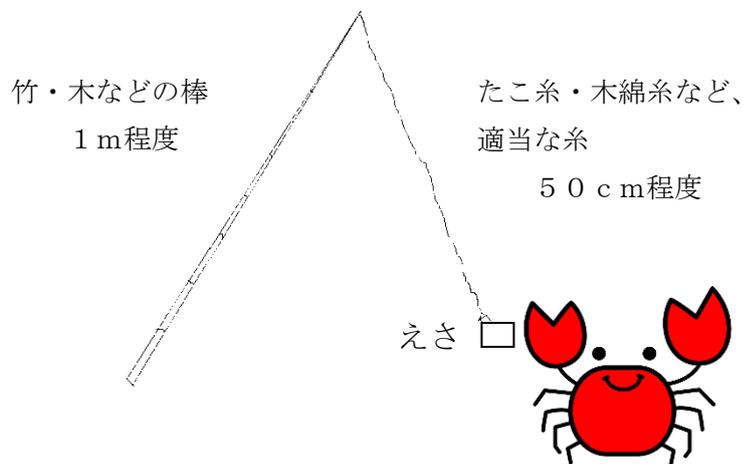
- ① 物品の借用・移動
- ② 活動説明（代表責任者）
- ③ 磯遊び・かにつり
- ④ 生物を海へ返す
- ⑤ まとめ・移動
- ⑥ 自然の家で物品を洗って返却

7 その他

- ・ 潮汐表で磯の状態を確認してください。干潮の時は活動に適しています。
- ・ ウォークラリーと合わせて実施することもできます。
- ・ 説明用資料で、海の生物について学習することもできます。

《資料》

○かにつりのしかけの作り方



- ① 棒に糸を結ぶ。
 - ② 糸の先にえさを結ぶ。
- ※えさは、「にぼし」、「生いか」がおすすめ。
※ちくわ、ウィンナー、するめなど、いろいろなえさを試すこともできる。

